

第14回 大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会

環境保全等審議会スケジュールおよび審議概要について

令和元年12月16日(月)

大阪府

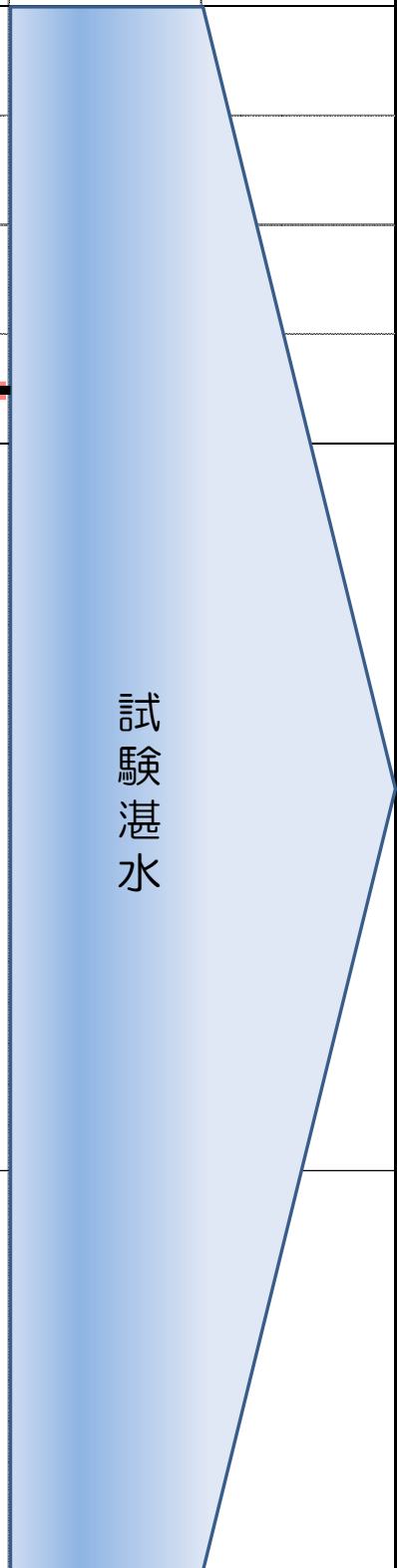


目次

1. 全体工程及び環境保全等審議会スケジュール.....	1
2. 試験湛水・ダム供用に向けた審議概要.....	2

1. 全体工程及び環境保全等審議会スケジュール

安威川ダム建設事業 全体工程及び環境保全等審議会スケジュール								
種別	～H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度(H31年度)	令和2年度(H32年度)	令和3年度(H33年度)	令和4年度	令和5年度
基礎掘削工	[Red arrow indicating construction period from ~H28 to H30]							
基礎処理工 (グラウチング)	[Red arrow indicating construction period from H29 to H32]							
盛立工	[Red arrow indicating construction period from H30 to H32]							
その他 (ダム管理施設等)	[Red arrow indicating construction period from H31 to H33]							
大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会		<ul style="list-style-type: none"> ●第10回 H30.3.22 (審議内容) 1.環境保全対策の評価方針について <p>【諮問】 「安威川ダム建設事業における工事期間中の自然環境保全対策の評価手法について」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●H30年度現地視察 H30.8～ ●第11回 H30.12.19 (審議内容) 1.環境保全対策の評価手法(素案)について ●第12回 H31.3.6 (審議内容) 1.環境保全対策の評価手法(案)について <p>【答申】 「安威川ダム建設事業における工事期間中の自然環境保全対策の評価手法について」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●第13回 R元.7.19 (審議内容) 1.【諮問1】試験湛水・ダム供用後における環境調査計画について 2.【諮問2】安威川ダム貯水池の水質予測及び水質保全方策の見直しについて 3. モニタリング調査の中間報告と環境保全の取組みについて <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○第14回 R元.12.16 (審議内容) 1. 安威川ダム貯水池の水質予測及び水質保全方策の見直しについて【答申に向けた審議】 2. 試験湛水・ダム供用後における環境調査計画について(中間報告) </div> <ul style="list-style-type: none"> ○第15回 R2.3(予定) (審議内容) 1. 試験湛水・ダム供用後における環境調査計画について(中間報告) 2. 工事期間中の環境保全方策の評価の結果について① 	<ul style="list-style-type: none"> ○第16回 R2年度(予定) (審議内容) 1. 試験湛水・ダム供用後における環境調査計画について【答申に向けた審議】 2. ダム完成に伴う環境保全方策の評価方針について 3. 工事期間中の環境保全方策の評価の結果について② 			
環境改善放流検討部会	<ul style="list-style-type: none"> ◆第2回、第3回 H26年度 (審議内容) 1.フラッシュ放流計画について 2.土砂還元計画について 3.モニタリング調査計画について ◆第6回、第7回 H28年度 (審議内容) 水質予測検討について 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自然出水におけるデータ蓄積および検証</div>		<ul style="list-style-type: none"> ◆第8回 R元.9.2 (審議内容) 1. 環境改善放流計画について(フラッシュ放流、土砂還元、効果把握調査) 2. 安威川ダム貯水池の水質予測及び水質保全方策について ◆第9回 R元.11.20 (審議内容) 1. 安威川ダム貯水池の水質予測及び水質保全方策について【答申案とりまとめ】 2. 環境改善放流計画(フラッシュ放流)について ◇第10回 R2.2(予定) (審議内容) 1. 環境改善放流計画(土砂還元、効果把握調査)について 	<ul style="list-style-type: none"> ◇第11回、第12回 R2年度(予定) (審議内容) 1. 環境改善放流計画について(フラッシュ放流、土砂還元、効果把握調査)【答申案とりまとめの審議】 			
環境調査	<ul style="list-style-type: none"> 工事中のモニタリング調査 						<ul style="list-style-type: none"> 試験湛水前後の環境調査 	



2. 試験湛水・ダム供用に向けた審議概要

表 2-1 試験湛水・ダム供用後の環境調査項目

試験湛水・ダム供用後に影響が予測される項目		懸念される影響	調査計画
試験湛水	水位変動域の生育・生息環境	●試験湛水時には、通常冠水しないサーチャージ水位まで湛水するため、生物の生息基盤となる植生への影響が想定される。	○試験湛水前後に、水位変動域の植生を調査する。 ・群落組成 ・植生図 ・樹木の活力度 ○影響を受けた植生の回復状況を調査する。
	水位低下時のダム下流河川の生物	●試験湛水終了時には、サーチャージ水位から常時満水位まで水位を低下するが、非洪水期に連続して一定の流量の放流を行うため、ダム下流河川の生物へ影響を与えることが想定される。	○試験湛水前後に、水生生物の生息状況を調査する。 ・水位、流量 ・水温、水質 ・河床材料 ・水生生物（魚類、底生動物）
ダム供用後	貯水池の水質 ダム下流河川の水質	●流水が貯水池で滞留することにより貯水池内の富栄養化現象、底層 DO の低下、温水放流、冷水放流、濁水放流が想定される。	【環境改善放流検討部会で検討】 ○貯水池及びダム下流河川の水質等を計測する（保全方策の効果を検証） ・水位、流量 ・水温、水質
	ダム下流河川の流況等	●ダムの洪水調節により、特に中小規模の出水が減少することが想定される。 ・付着藻類の更新頻度の減少 ・掃流力の低下による細粒土砂の堆積 ・流量平滑化による流路の固定（樹木の繁茂、瀬淵構造の単純化） ●ダム上流からの土砂の供給がなくなり、ダム下流河川の河床高の変化、河床材料の構成が変化することが想定される。	【環境改善放流検討部会で検討】 ○ダム下流河川の流況等を計測する（保全方策の効果を検証） ・水位、流量 ・河道形状（横断測量） ・付着藻類 ・河床材料 ・河畔植生、瀬淵分布 など
	動植物（生育・生息環境）	●ダム堤体、貯水池の存在により、動植物の生息環境が縮小することが想定される。	○希少および指標となる動植物の生育・生息状況を調査する（保全方策を実施しているものは効果を検証）
	生態系	●貯水池の存在により、貯水池周辺の生態系が変化する可能性が想定される。	○生物の生育・生息基盤、生態系の指標種の調査を行う（保全方策を実施しているものは効果を検証） ・植生 ・河川環境（瀬・淵の分布、河床材料） ・指標種

※網掛けは、環境改善放流検討部会での審議事項